



リハビリテーション
センターより

ウォーターベッド型マッサージ器 アクアタイザー-QZ-220 を導入しました

平成24年4月より、当院リハビリテーションセンター内にベッド型マッサージ器『アクアタイザー-QZ-220』が、新たに導入されましたのでご紹介します。



アクアタイザー-QZ-220とは？

「水」本来の流体特性を応用し、ウォーターベッドならではの浮遊感に抱かれながら、ベッドの床面から噴射される水圧を利用して全身をマッサージします。治療プログラムは「さする」「こねる」「もむ」「おす」「たたく」の基本パターンに「のぼす」やソフト感覚の「なでる」を加えた多彩な手技療法を再現します。

ローラーのようなゴツゴツ感がないので、マッサージ器が苦手な方にもお勧めできます。



どんな効果があるの？

脊柱を中心に、筋肉・腱・靭帯の凝りを水圧刺激によってほぐし、血行の改善を促進します。また、リラクゼーション効果にも優れています。



どんな症状に使うの？

肩こり、腰痛、背部痛、むくみ、疲労回復など幅広い症状に適応があります。



『アクアタイザー-QZ-220』による治療には、医師の処方が必要になります。症状について適応があるかなど詳細については、当院の診療科医にご相談ください。

(リハビリテーションセンター)

お知らせ

平成24年4月の診療・介護報酬改定に伴うお知らせ



平成24年4月の診療・介護報酬改定に伴い、当院では一例として以下ようになります。

《医療保険の改定》

- ・外来診察時、同日に複数の科を受診した場合、それぞれの再診料がかかるようになります。患者さんの自己負担分の金額が変わることがございます。

《介護保険の改定》

- ・介護病棟をご利用されている患者さんのご負担が、月額128円程度増えることとなります。



以上のことをご不明な点がございましたら、受付又はお電話でお問い合わせください。

院内 委員会紹介と活動内容

★感染対策委員会より★

～患者さんの健康のために～

鳥インフルエンザ、O-157、薬剤耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）等が世間の耳目を集め、感染は今や社会問題化しています。感染症をいかに制御していくか、とても重要な課題です。

当院では、鈴木尚志医師を委員長として、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・栄養士・理学療法士・事務職員・看護補助者からなるメンバーで委員会を構成し活動しています。

ポスターを貼って、食中毒、インフルエンザ等、季節に合わせて感染症に対する注意を呼び掛けたり、トイレ等手を洗う場所に手洗い手順を張って、手洗いの大切さをお知らせしています。また、入院患者さんの感染予防のため、面会時の注意をお願いするポスターを掲示しました。

職員に向けては、手洗いや感染症の勉強会を開き意識の向上に努め、また、日常業務手順や消毒方法を随時見直し、感染予防のための環境を整えるよう

当院では、さまざまな委員会が院内に設置されており、各委員会では職員の自己啓発などといった活動を行い、患者さんへ安全・安心な医療を提供できるよう努めております。今号より、院内の委員会活動について紹介していきます。



感染症に対する注意を呼びかけるポスター



手洗い講習会の様子

取り組んでいます。さらに、感染症発生にいち早く対応できるよう、月1回実施する委員会で情報交換のほかに対処方法や報告ルート等を整備中です。

今後とも、患者さんの健康のため感染予防対策をさらに充実させていきたいと考えています。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

☆☆編集後記☆☆

朝晩とも心地よい季節になりました。私は、この時期が一番好きです。少し早起きをしてジョギングシューズを履き、春の静かな朝を楽しみませんか？しかし、少し動くと体内の水分が蒸発し、脱水症

状になるのでコマめに水分補給をしましょう。ビールでの水分補給はダメですよ。

さて、最近になってもインフルエンザに罹患している方が受診されています。

熱は微熱ですが、検査をすると陽性反応が出ています。

体調がおかしいと思ったらすぐに鈴木病院へお越しください。

Y.N

